ヒガンバナ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
国体・障スポ／一般	国体：9月29日から10月9日　障スポ：10月13日から10月15日						
1年目				植え付け		開花	
2年目以降						開花	

※摘心や切り戻しで開花時期や花数は変わります。
※育成期間は一例となります。花の生育は栽培環境によって異なります。

特徴

秋の彼岸の時期に咲くことが名前の由来になっており、曼珠沙華とも呼ばれる。
花の色は真っ赤なものが有名であるが、ヒガンバナの仲間には淡いピンクや白色の花をつける夏水仙をはじめ、改良された様々な色の品種がある。

植え付け

球根の底部が深さ１０センチくらいになるように植えます。
球根同士は球根の大きさの２～３倍程度間隔を空けるようにします。
庭植えでも、鉢植えでも構いませんが、鉢植えする場合、
根が深い植物なので深い鉢やプランターを準備しましょう。
また植える場所は深く耕すようにしましょう。

種子

原産地 ― 中国、日本
科名 ― ヒガンバナ科
花言葉 ― 情熱

管理

適した土壌：有機質に富み、水はけがよく保水性のある土壌
日当たりのよい環境で乾燥気味に育てましょう。
花壇や畑などでは水やりの必要はほとんどありませんが、
極端に乾燥する場所では適度に水やりが必要です。
また花の時期だけはあまり乾燥していると生育に影響するので適度に水やりをしましょう。

植え付けの様子（美浜町大薮区）